

令和2年10月12日

関係機関の長 殿

東京農工大学  
農学研究院長・農学部長 船田 良

東京農工大学大学院農学研究院・動物生命科学部門  
テニュアトラック教員（助教）公募について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本学部では、下記の要領により教員を公募することになりました。つきましては、貴機関の関係者にご周知下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年のテニュアトラックポストの助教を公募いたします。

本制度は、若手研究者を、任期付きで雇用し、将来に亘って活躍できる農学研究院・農学部の優れた教育職員として育成するために、研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学准教授（講師を含む）のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的とするものです。採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられ、学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については、別途資格を判定して認定されます。任期3年目と5年目にテニュア付与審査を実施し、テニュアトラック期間内に所定の業績を上げたと評価された場合は、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の准教授または講師に採用する予定です。

なお、テニュア付与審査の方法と基準の概要については、別紙（「農学研究院テニュア付与審査方法・基準の概要」）を参照してください。本テニュアトラック助教ポストでは、動物医療センターにおける診療業務も業績に含まれます。

2. 募集分野および人数

動物生命科学部門、臨床獣医学研究分野

テニュアトラック教員（助教）1名（農学部共同獣医学科獣医外科学研究室兼務）

### 3. 専門分野および応募資格

伴侶動物臨床の経験を有し、伴侶動物臨床医学、特に獣医外科学に精通した獣医師で、博士号の学位を有する方もしくは着任時に取得見込みの方。研究遂行能力に長け、学部や大学院の学生に対して、教育研究指導補助を行うことができる方。動物医療センターにおける動物診療を含む職域業務の役割を担える方。

### 4. 予定担当授業科目：

（農学部）共通教育科目、小動物臨床獣医学科目、獣医学演習、卒業研究、総合参加型臨床実習、獣医学演習の一部

（大学院共同獣医学専攻）研究デザイン演習、研究プレゼンテーション演習、獣医臨床医科学特別演習など

### 5. 待遇

給与は年俸制で支給され、福利厚生は一般の教員とほぼ同じです。

### 6. 着任時期

令和3年3月以降のできるだけ早い時期。

### 7. 出願書類

- 1) 履歴書（写真貼付、Eメールアドレス記入）
- 2) 業績目録（学位論文、原著論文、その他の著述、国内外での学会発表、研究費獲得状況、特許、受賞などに類別記載）
- 3) 主要業績の別刷り（3編以内）
- 4) これまでの研究成果の概要（A4 2枚以内）
- 5) 教育実績（担当授業科目等）
- 6) 本学における研究計画概要（A4 2枚以内）
- 7) 本学における教育に関する抱負（A4 1枚以内）
- 8) 応募者に関して問い合わせ可能な者2名の氏名、連絡先リスト  
推薦状がある場合には、A4用紙1枚程度で書式自由  
選考の過程で応募者の来訪を求め、面接などを実施することがある（経費は自己負担）

### 8. 応募締切り

令和2年12月25日（金） 必着

### 9. 書類提出

提出書類をPDFファイルとして書類提出先Eメールアドレスまで電子メールで提出のこと（最大ファイル容量10MB）。ファイル容量が超過する場合は、送付前に以下の問合せ先に連絡をとること。

※メール件名に「助教応募（応募者氏名）」と記載してください。

※提出書類を受信しましたら、受信確認の返信をいたします。返信が届かない場合は、以下の問合せ先に必ず連絡をしてください。

10. 問合せ先・書類提出先

〒183-8509 東京都府中市幸町 3-5-8 東京農工大学農学部共同獣医学科

動物生命科学部門テニユアトラック助教候補選考委員会

委員長 田中 知己 (Eメール：[tomomit@cc.tuat.ac.jp](mailto:tomomit@cc.tuat.ac.jp)、Tel：042-367-5781)

農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後 6 ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の 3 年目と 5 年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員 2 名から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。